



平成30年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年11月7日

上場会社名 株式会社スペース 上場取引所 東
 コード番号 9622 URL http://www.space-tokyo.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)若林 弘之
 問合せ先責任者 (役職名)管理本部長 (氏名)三品 和久 (TEL) 03(3669)4008
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第3四半期の業績 (平成30年1月1日～平成30年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期 第3四半期	32,270	△11.8	2,378	△17.3	2,376	△17.2	1,614	△17.3
29年12月期 第3四半期	36,567	4.3	2,875	17.4	2,870	17.4	1,952	33.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期 第3四半期	66.82	—
29年12月期 第3四半期	80.79	—

(注) 当社は、平成30年1月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。平成29年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期 第3四半期	34,995	27,016	77.2
29年12月期	33,257	26,571	79.9

(参考) 自己資本 30年12月期第3四半期27,016百万円 29年12月期26,571百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	25.00	—	30.00	55.00
30年12月期	—	25.00	—	—	—
30年12月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 29年12月期期末配当金の内訳 : 普通配当25円00銭、特別配当5円00銭

(注3) 当社は、平成30年1月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。平成29年12月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成30年12月期の業績予想 (平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,000	△7.4	3,300	△10.1	3,200	△13.0	2,200	△11.7	91.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

30年12月期3Q	26,600,319株	29年12月期	26,600,319株
30年12月期3Q	2,437,265株	29年12月期	2,434,579株
30年12月期3Q	24,163,857株	29年12月期3Q	24,166,415株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

(注) 当社は、平成30年1月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。平成29年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「発行済株式数（普通株式）」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付書類P.3「(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期貸借対照表	P. 4
(2) 四半期損益計算書	P. 6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(セグメント情報等)	P. 7
(重要な後発事象)	P. 7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間（平成30年1月1日～平成30年9月30日）における当社を取り巻く事業環境は、企業収益が堅調に推移し、設備投資の増加が続いている一方で、人口減少や個人消費の停滞が長期化しているなど、不透明な事業環境が続く状況となっております。

このような状況の下、当社は中期経営計画に基づき、安定した利益を確保するため、収益性及び生産性の向上を目的とした社内体制の整備・強化を行ってまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は322億70百万円（前年同四半期比11.8%減）、営業利益は23億78百万円（前年同四半期比17.3%減）、経常利益は23億76百万円（前年同四半期比17.2%減）、四半期純利益は16億14百万円（前年同四半期比17.3%減）となりました。

なお、当社はディスプレイ事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載に代えて、市場分野別に記載しております。

市場分野別の売上高は次の通りであります。

区分	前第3四半期累計期間 (自 平成29年 1月 1日 至 平成29年 9月30日)		当第3四半期累計期間 (自 平成30年 1月 1日 至 平成30年 9月30日)		増減	
	売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	増減率 (%)
複合商業施設 ・総合スーパー	6,100	16.7	5,450	16.9	△649	△10.7
食品スーパー ・コンビニエンスストア	4,656	12.7	3,937	12.2	△718	△15.4
各種専門店	18,500	50.6	14,522	45.0	△3,978	△21.5
飲食店	3,968	10.9	4,256	13.2	288	7.3
サービス等	3,342	9.1	4,103	12.7	761	22.8
合計	36,567	100.0	32,270	100.0	△4,297	△11.8

当第3四半期累計期間における市場分野別の主な状況は、複合商業施設・総合スーパー分野では、ショッピングセンターのリニューアルや新規出店数が減少傾向にあることから、受注が減少いたしました。食品スーパー・コンビニエンスストア分野では、新規大型案件の減少及びブランド転換工事が一巡し、受注が減少いたしました。各種専門店分野では、消費者マインド低下の影響を受け、出店戦略の見直しが行われたことから、衣料品関連や家具家電専門店の受注が減少いたしました。サービス等分野では、ホテル関連の受注が堅調に推移したほか、葬祭場及び理容・美容に関する店舗の受注が増加いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産は、349億95百万円（前事業年度比17億37百万円増）となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ7億7百万円増加し、229億37百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が18億99百万円、受取手形が4億4百万円減少したものの、未成工事支出金が30億17百万円増加したことによるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べ10億30百万円増加し、120億58百万円となりました。主な要因は、土地が4億95百万、投資その他の資産が5億10百万円増加したことによるものです。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債は、79億79百万円（前事業年度比12億93百万円増）となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べ12億95百万円増加し、60億40百万円となりました。主な要因は、工事未払金が13億47百万円増加したことによるものです。

固定負債は、前事業年度末に比べ2百万円減少し、19億38百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は、270億16百万円（前事業年度比4億44百万円増）となりました。主な要因は、利益剰余金が3億51百万円増加したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月9日発表の通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,338,253	10,438,448
受取手形	1,344,215	939,320
完成工事未収入金	6,319,051	5,938,711
未成工事支出金	2,002,310	5,019,856
材料及び貯蔵品	6,737	8,999
その他	223,644	594,036
貸倒引当金	△4,100	△1,700
流動資産合計	22,230,113	22,937,672
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,931,293	2,842,750
土地	5,591,147	6,086,605
その他(純額)	183,050	245,426
有形固定資産合計	8,705,491	9,174,782
無形固定資産	127,015	177,611
投資その他の資産		
その他	2,196,222	2,705,675
貸倒引当金	△1,036	—
投資その他の資産合計	2,195,185	2,705,675
固定資産合計	11,027,692	12,058,070
資産合計	33,257,806	34,995,743
負債の部		
流動負債		
工事未払金	1,973,098	3,320,934
短期借入金	300,000	300,000
未払法人税等	714,783	320,542
賞与引当金	86,302	484,597
完成工事補償引当金	40,597	37,589
受注損失引当金	—	24,153
その他	1,630,196	1,552,981
流動負債合計	4,744,979	6,040,799
固定負債		
長期末払金	350,387	350,387
退職給付引当金	1,585,719	1,584,581
その他	4,813	3,645
固定負債合計	1,940,919	1,938,614
負債合計	6,685,899	7,979,414

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,395,537	3,395,537
資本剰余金	3,566,800	3,567,127
利益剰余金	20,927,141	21,278,621
自己株式	△1,729,545	△1,734,003
株主資本合計	26,159,933	26,507,283
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	411,973	509,045
評価・換算差額等合計	411,973	509,045
純資産合計	26,571,907	27,016,329
負債純資産合計	33,257,806	34,995,743

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高		
完成工事高	36,567,294	32,270,219
売上原価		
完成工事原価	31,929,822	28,172,804
売上総利益	4,637,472	4,097,414
販売費及び一般管理費	1,761,658	1,718,448
営業利益	2,875,813	2,378,966
営業外収益		
受取利息	786	1,275
受取配当金	11,898	11,954
受取地代家賃	10,347	6,256
その他	3,988	6,612
営業外収益合計	27,020	26,098
営業外費用		
支払利息	3,309	3,295
売上割引	15,561	11,520
不動産賃貸費用	4,989	3,082
その他	8,562	10,434
営業外費用合計	32,422	28,331
経常利益	2,870,411	2,376,732
特別利益		
投資有価証券売却益	—	190
特別利益合計	—	190
特別損失		
固定資産除売却損	39	—
特別損失合計	39	—
税引前四半期純利益	2,870,371	2,376,922
法人税、住民税及び事業税	1,080,374	882,239
法人税等調整額	△162,552	△119,953
法人税等合計	917,821	762,286
四半期純利益	1,952,550	1,614,636

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。